

檀原市第1期こども計画 わかりやすい版

デザイン前表紙ページ

- 令和5年4月に「こども基本法」がつけられました。この法律は、全国すべてのまちが、子どもや若者のことを第一に考え、子どもや若者の意見も聞きながら、子どもや若者のための取り組みを進めていくことを定めています。
- この計画は、上の「こども基本法」の考え方から、自分らしく毎日を過ごせること、みんながチャレンジしながら成長していけること、人との出会いやつながりを大切にできることなど、子どもや若者にとってよりよい未来をかなえることができるまちにするために、どんな檀原市を目指すのか、みんなに知ってもらうためのものです。

し 市は、 しゃかい なか社会」の ざ 指します！



けいかく だれのための計画なの？

- この計画は、主に次の人たちのことについて考えた計画で、大人たちは、子どもや若者、妊婦や保護者の方を守っていく必要があります。

がっこう かよ まえ こ
学校に通う前の子ども
(0～5歳)



しょうがくせい ちゅうがくせい こうこうせい
小学生や中学生、高校生に
あたる年齢の方 (6～17歳)



わかもの さい
若者 (18～39歳)



にんぶ ほごしや かた
妊婦・保護者の方



※4/1時点の年齢です

みんなに知ってほしい、

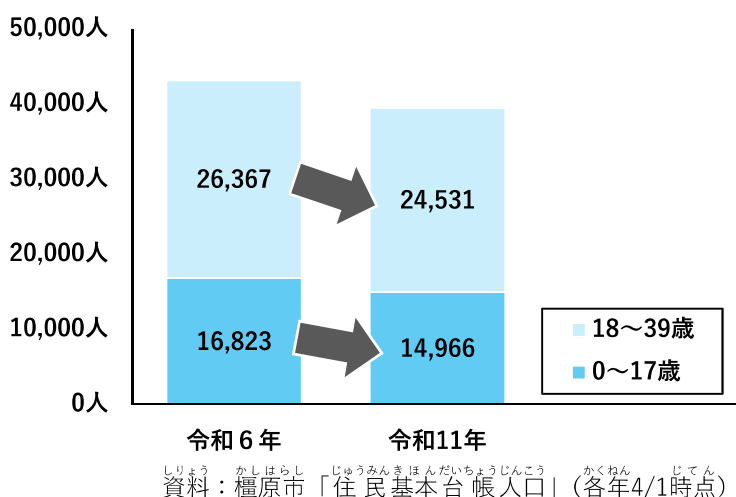
梶原市の子どもや若者のこと

子どもや若者の人口は減りつつあります

令和6年時点の梶原市の子ども（0～17歳）の人数はおよそ17,000人、若者（18～39歳）の人数はおよそ26,000人です。

5年後の令和11年には、子どもの人数はおよそ15,000人、若者の人数はおよそ25,000人になると見込まれており、子どもや若者の人数が年々少なくなっています。

▼子ども・若者の人口

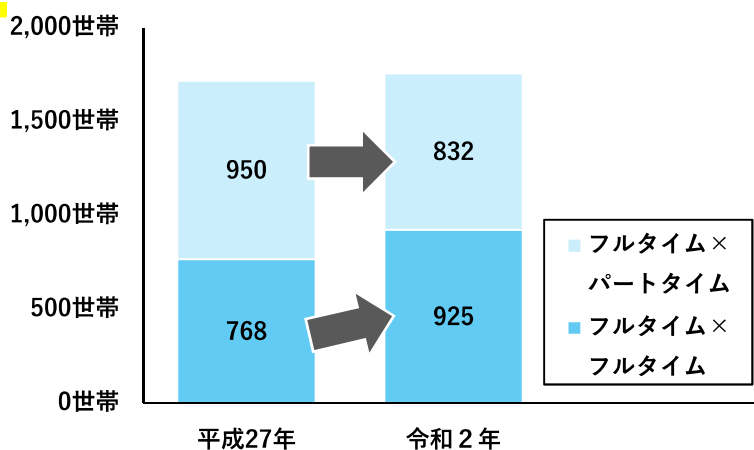


子どものいる共働き家庭は増えつつあります

子どもを育てながら夫婦ともに働いている家庭の数は増えており、第1子（一人目の子ども）が12歳未満の場合に限ると、全体（約50,000家庭）でおよそ1,800家庭が該当しています。

最近では、両親のどちらも正社員として働いている家庭が増えていることがわかります。

▼第1子が12歳未満の共働き家庭数



子ども・若者の

大人に心がけて
ほしいこと

- 信頼できる大人がいるということを子どもに伝えること（中学生）
- ひとりの人として尊重すること（高校生相当）
- 子どものことばかり考えず、自分のことも大切にすること（中学生）
- できる限りなるべくでいいからウソをつかないこと（中学生）

こ おも まも ひつよう 子どもの思いを守る必要があります

子どもへのアンケート調査では、大人に心 がけてほしいこととして、特に子どもの心 や 体 を守ること、他の子どもと比べないこと、家族で一緒に過ごせる時間を増やすことが大切だと考えていることがわかります。

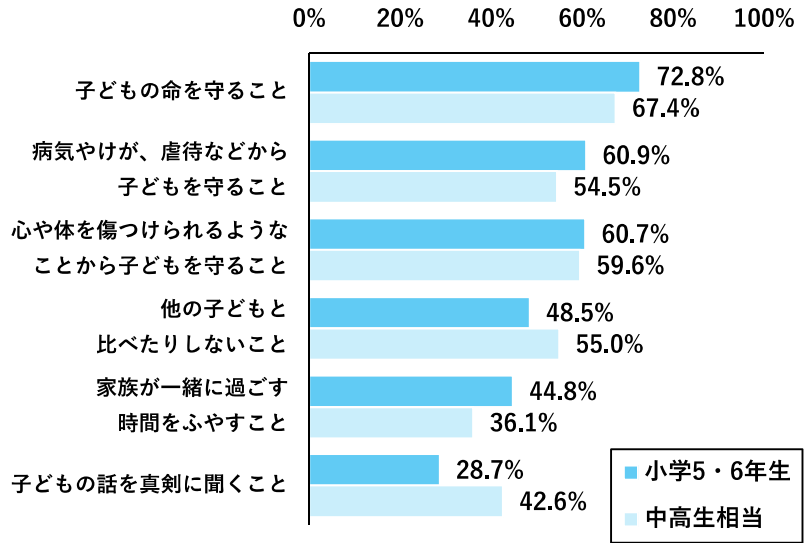
中学生以上では、比べたりしないでほしい、話を真剣に聞いてほしいという意見も多く、自分の思いを大切にしてほしいと考えていることがわかります。

わかもの しょうらい ふあん 若者の将来への不安はいろいろです

若者へのアンケート調査では、若者が抱えている将来への不安として、お金のことという回答が特に多くなっています。

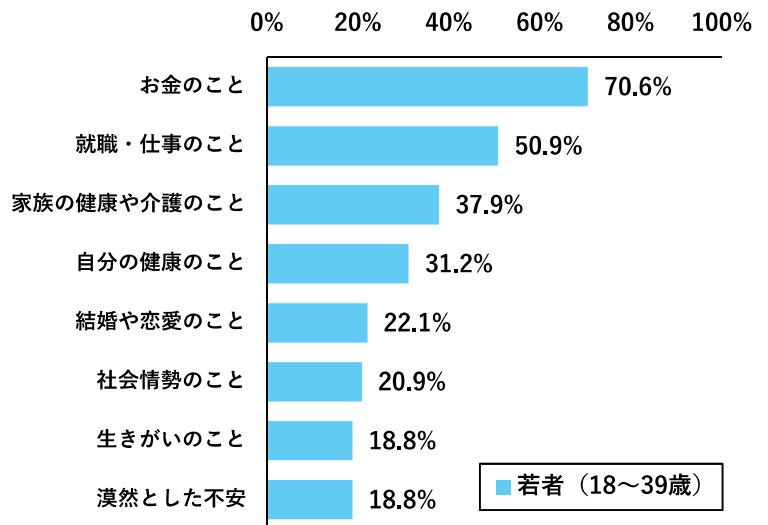
若者の中でも、年齢がさがると就職・仕事のこと、年齢があがるにつれて自身や家族の健康にたいする不安が大きくなっているほか、グラフにはありませんが、20歳代後半で結婚や恋愛のことに対する不安が大きくなっており、年齢に応じて悩みも変化していることがわかります。

おとな こころ ▼大人に心 がけてほしいこと（アンケート調査）



※一部の選択肢だけ掲載しています。

げんざいか なや ふあん ▼現在抱えている悩みや不安（アンケート調査）



※一部の選択肢だけ掲載しています。

い けん しょうかい 意見の紹介

これから生まれ育つ
子どものために
大切だと思うこと

- 子どもを一人の人間として対応することが大切だと思います（20歳代）
- ありのままを受け入れてもらい、味方がいると感じられること（30歳代）
- どんな家庭でも、本人が望む教育が受けられること（30歳代）
- 子どもが自由に遊ぶことができる場所の確保（20歳代）

かしはらし
檜原市が、

たいせつ
大切にしたいこと

めざすまちの姿（基本理念）

いま、わたしたちが毎日過ごしている日本は、昔とは大きく変わっています。

これからは、大人は子どもや若者の考えを聞き、

大人が「子どもや若者にとって一番よいことは何か？」を考えることが大切になります。

また、子どもや若者が夢や希望をもって、

自分が大人になった時に自分の力で暮らしていけるような成長につながるよう、

みんなで支えることができる「こどもまんなか社会」になるようにチャレンジしていくことが必要です。

かしはらしでも、子どもや若者の権利が守られ、

「将来こうなりたい」という希望をかなえられることや、

新しい人との出会いやつながりを大切にし、

まち全体で子どもや若者の明るい未来につなげられることをめざして、

「こどもの笑顔と未来をはぐくむまち かしはらし」

かしはらしの「めざすまちの姿」とし、それにむけた取り組みを進めていきます。



どうやって取り組むの？（基本目標）



基本目標1 子どもや若者を支える取り組みを進める

檜原市は、生まれてから成長し、自分の力で暮らしていけるようになるまでのそれぞれの時期にあった手助けをします。また、特別な手助けを必要とする子どもや若者への手助けだけでなく、子どもの権利を守る取り組みをすることで、すべての子どもが安心して成長できるようなまちを目指します。

- 【取り組むこと】 ①乳幼児期の支援 ②学童期・思春期の支援 ③青年期の支援
④特別な支援を必要とする子どもや若者への支援
⑤子どもの権利を守る取り組みの実施



基本目標2 家庭を支える取り組みを進める

檜原市は、妊娠や出産の時期に、お母さんと赤ちゃんが体も心も元気に安心して過ごせるようにするために、途切れることなく手助けを続けていきます。また、子育て中の家庭が「やってほし」「こうなるといいな」と考えている内容に応じることで、地域や社会全体で子育てを手助けできるようにします。さらに、まちのみんなが、ひとりで悩むことがないようなまちを目指します。

- 【取り組むこと】 ①妊娠期・出産期の支援 ②子育て世帯の支援
③要支援者への支援



基本目標3 子どもや若者を支える地域・社会をつくる

檜原市は、子どもや子育て家庭にやさしいまちづくりを進めつつ、公園をきれいにしたり、犯罪や災害への対策をしたりして、みんなが安心して暮らせるまちを目指します。また、子どもからお年寄りまでいろいろな年齢の人同士の交流を増やし、近所づきあいを大事にし、地域のいろいろな人たちが子育て家庭を手助けできるようなまちを目指します。

- 【取り組むこと】 ①安全で安心して暮らせる環境づくり
②地域における交流や活動の場の充実
③子育てを支えるネットワークや仕組みの強化

こ わかもの 子どもや若者のために、

とく ちから い と く じゅうてんしさく 特に 力 を入れていく 取り組み (重点施策)



と く
取り組みその 1

こ わかもの おも かんが
子どもや若者の思いや 考 え、
き も たいせつ
気持ちを大切にします

すべての子どもや若者が、自分の夢をかなえるために、そのままの自分を理解して受け入れることができるよう見守ったり、子どもや若者の心や体が傷つけられないようにみんなで見守り、必要な時は手助けをするなど、子どもや若者の「自分で考え、進んで行う気持ち」を大切にする環境づくりに力をいれて取り組んでいきます。

こんごひつよう とりくみ 【今後必要となる取組】

- ☐ 「子どもの権利」をより多くの方に知ってもらう
- ☐ 子どもや若者が自分の意見や考えを伝えられる機会をつくる
- ☐ 「自分で考え、進んで行う気持ち」を大切にしたい関わり方について、保護者だけでなく、他の大人たちにも知ってもらう



と く
取り組みその 2

こ わかもの
すべての子どもや若者の
みらい まも
未来を守ります

生まれや育ち、性別や体の特徴などによって差別されたり、いろいろな経験や体験の機会を奪われてしまうことで、子どもや若者自身の将来に影響を与えてしまうことがないよう、いろいろな機会をみんなが利用できる環境づくり、子どもや若者一人ひとりに寄り添ったきめ細やかなサポートの充実、支援を必要とする人を助けるしくみづくりなどに力をいれて取り組んでいきます。

こんごひつよう とりくみ 【今後必要となる取組】

- ☐ いろいろな体験ができる機会をつくる
- ☐ 放課後に気軽に立ち寄り、遊んだり勉強ができる場所をつくる
- ☐ 子どもや若者が気軽に相談できるような仕組みをつくる

とく
取り組みその3

であ せいちょう よろこ
出会いや成長に喜びを
かん
感じられるようにします

かぞく とも いっしょ かつどう なかま
家族や友だち、一緒に活動をする仲間など、
あた ひと で あ きかい ふ てだす
新しい人と出会う機会を増やす手助けや、
しょうらい じぶん すがた ちか
将来になりたい自分の姿に近づくために成
ちょう きかい
長する機会をつくるなど、ひとりひとりの感じ
かた かんが かん たいせつ
方や考え方を大切にしながら、つながること
の喜び、成長することなどを人生のそれぞ
れ タイミングで感じられる環境づくりに
ちから い とく
力を入れて取り組んでいきます。

こんごひつよう とりくみ 【今後必要となる取組】

- ☐ おとな になつてからの まな ぶな おし がし やすい かんきよう
環境をつくる
- ☐ あら で あ かん し えん じゅうじつ
新たな出会いに関する支援を充実させる
- ☐ よい ぎょういく う かんきよう
教育を受けられる環境をつくる

とく
取り組みその4

ひと きょうりよく
すべての人が協力して、
こども わかもの おうえん
子どもや若者を応援します

ワーク・ライフ・バランス (しごと じぶん じかん
の じゅうじつ 充実) をかなえることをはじめ、ほごしゃ
保護者が
ひとりで こそだ ふたん かか
一人で子育ての負担を抱えることがないよ
う、家族内での意識づくり、ご近所を含めたい
ろいろな ひとたちで こそだ し えん すす
子育て支援を進めるなど、
ま ぜんたい きょうりよく こそだ ちゅう かてい て
まち全体で協力して子育て中の家庭を手
助けできる かんきよう ちから い
環境づくりに力を入れて取り組
んでいきます。

こんごひつよう とりくみ 【今後必要となる取組】

- ☐ ワーク・ライフ・バランスをかなえるために、市内的
かいしゃ じょうほう ていきよう
会社へ情報を提供する
- ☐ かてい ない きょうりよく こそだ
家庭内で協力して子育てができるような意識づくり
を進める
- ☐ しゃかい ぜんたい こども わかもの ささ い しき
社会全体で子どもや若者を支える意識づくりを進める

子どもや若者の成長にあわせた

取り組みの紹介

基本目標	妊婦	乳幼児			
		0歳	1歳	2歳	3歳
基本目標1 子どもや若者を 支える取り組み の推進		■安定した保育園（所）・幼稚園運営など			
		■病児保育事業			
		■養育支援訪問			
		■妊産婦・乳幼児に関する全状況把握や情報提供・相談			
		■子どもや家庭の相談支援、児童虐待対応と支援のためのネットワークづくり、こども家庭センター運営			
基本目標2 家庭を支える 取り組みの推進		■子ども総合支援センターにおける子どもの成長に応じた支援、就学前の発達相談・訪問など			
		■障がい者医療費の助成			
		■かしの木園における利用者への支援など			
		■各種母子に関する健診・相談・教室・訪問など			
		■母子健康手帳の交付・妊娠届出時の面談・全状況把握と支援、給付金による経済的支援			
基本目標3 子どもや若者を 支える地域・ 社会の構築		■生活困窮者自立支援法に基づく生活困窮者への経済的な自立支援、生活保護制度による困窮者支援			
		■出産一時金の支給			
		■未熟児養育医療			
		■子どもの医療費の窓口負担金無償化、児童手当の支給			
		■ひとり親家庭等医療費助成、児童扶養手当の支給、特別児童扶養手当の支給			
		■ひとり親家庭等の母や父の自立に向けた就労支援、資格取得の支援			
		■「こども広場」「子育て支援センター」における年齢別行事の実施や交流			
		■就学前の子どもを対象とした一時預かり保育事業			
		■ファミリー・サポート・センター事業			
		■住宅など各種相談会の開催、市営住宅の整備や管理			
		■災害対策、防犯環境の整備、安全な交通環境の確保			

[illegible]

相談先の一覧

困ったことがあったら、こちらにご相談ください！

★子どもや若者向けの相談窓口はこちらから

窓口名	対象	場所	その他情報
教育何でも相談	小・中・高校生、 その保護者	・ 榎原市中央公民館 ・ シルクの杜	榎原市退職校舎長会
いじめ・不登校等に 関する電話相談	公立小・中学生、 その保護者		0744-47-3001
スクール カウンセリング	公立小・中学生、 その保護者	・ かしはら万葉ホール	在籍している学校 榎原市 適応 指導 教室 「虹の広場」
オンライン カウンセリング 「Web虹」	公立小・中学生、 その保護者		在籍している学校 榎原市 適応 指導 教室 「虹の広場」 (0744-29-5913)
青少年センター	家庭や学校生活について 悩んでいる方	・ かしはら万葉ホール	榎原市青少年センター (0744-28-3666)
こども家庭相談 ダイヤル	18歳までのこども、 その保護者	・ 榎原市役所分庁舎 (ミグランス) 2階	こども家庭課 (0744-23-8331)

★その他の相談窓口

〈保護者向けの相談窓口〉

「榎原市子育て応援サイト」内に、様々なケースに対応する個別の相談窓口に関する情報を掲載しています。右の二次元コードよりアクセス可能です。



〈こころの悩みや不安を持っている方向けの相談窓口〉

先の見えない不安や、生きづらさを感じる方に寄りそってサポートする相談窓口の情報を掲載しています。右の二次元コードよりアクセス可能です。

